

日本歯科麻酔学会	2007.10	パニック障害患者に対する歯科治療時の全身管理	大船 由理	歯科麻酔
北海道歯学雑誌(28巻110-119ページ)	平成19年12月	歯槽骨再生材料としてのキトサン/ハイドロキシアパタイトナノ複合体の力学および生物学的特性	柏崎晴彦	高齢者歯科
Ann. Surg. Oncol., 14(5): 1694-1702	2007年5月	Detection of minimal gastric cancer cells in peritoneal washings by focused microarray analysis with multiple markers: clinical	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(5): 337-344	2007年5月	Primary ocular adnexal MALT lymphoma: A long-term follow-up study of 114 patients.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Cancer Sci., 98(7): 985-991	2007年7月	Gene expression profiling of epidermal growth factor receptor/KRAS pathway activation in lung adenocarcinoma.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Clin. Cancer Res., 13(18): 5385-5390	2007年9月	Epidermal growth factor receptor mutation detection using high-resolution melting analysis predicts outcomes in patients with advanced non small cell lung cancer treated with gefitinib.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys., 69(4): 1181-1186	2007年11月	A multicenter phase II study of local radiation therapy for stage IEA mucosa-associated lymphoid tissue lymphomas: a preliminary report from the Japan Radiation Oncology Group (JAROG).	Yoshihiro Matsuno	病理部
Cancer Sci., 98(11): 1714-1719	2007年11月	Epidermal growth factor receptor mutation status and clinicopathological features of combined small cell carcinoma with adenocarcinoma of the lung.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Respirology, 12(6): 856-862	2007年11月	Development and validation of diagnostic prediction model for solitary pulmonary nodules.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(12): 907-912	2007年12月	Molecular markers and changes of computed tomography appearance in lung adenocarcinoma with ground-glass opacity.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Jpn. J. Clin. Oncol., 37(12): 913-917	2007年12月	Correlation of the solid part on high-resolution computed tomography with pathological scar in small lung adenocarcinomas.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Pathol. Int., 58(1): 31-37	2008年1月	Immunohistochemical expression of TTF-1 in various cytological subtypes of primary lung adenocarcinoma, with special reference to intratumoral heterogeneity.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Arch. Pathol. Lab. Med., 132(2): 239-243	2008年2月	Analysis of expression patterns of breast cancer-specific markers (mammaglobin and gross cystic disease fluid protein-15) in lung and pleural tumors.	Yoshihiro Matsuno	病理部
Surg Today, 38(3): 245-248	2008年3月	Successful resection of dermatomyositis associated with thymic carcinoma: Report of a case.	Yoshihiro Matsuno	病理部
病理と臨床、26(1): 48-54	2008年1月	C型肝炎・肝硬変移植後に注意すべき病理像	久保田佳奈子	病理部
臨床血液、49(1): 10-17	2008年1月	眼付属器原発MALTリンパ腫	松野吉宏	病理部
J Clin Microbiol 45(10): 3218-23; 2007	Aug-07	Seroepidemiology of human bocavirus in Hokkaido prefecture, Japan	Endo. N, Ishiuro, N et al.	感染制御部、小児科
J Clin Microbiol 46(3): 928-32; 2008	Jan-08	Comparison of a lateral-flow immunochromatography assay with real-time reverse transcription-PCR for detection of human metapneumovirus	Kikuta. H, et al.	感染制御部、小児科

Introcan Safety Case Study Vol.4 ビー・ブラウンエースクラップ株式会社出版 (学術小冊子)	2007年8月	北海道大学病院における針刺し防止対策の取り組み	奥 直子	感染制御部
Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences 10巻1号 71-85ページ	平成19年4月	Difference between pharmacokinetics of mycophenolic acid (MPA) in rats and that in humans is caused by different affinities of MRP2 to a glucuronized form	菅原 満	薬剤部
Biological Pharmaceutical Bulletin 30巻11号 2146-2153ページ	平成19年11月	Stereoselective metabolism of racemic carvedilol by UGT1A1 and UGT2B7, and effects of mutation of these enzymes on glucuronidation activity	菅原 満	薬剤部
医療薬学 34巻1号 20-25ページ	平成20年1月	心臓血管造影剤による急性腎機能低下に対するアセチルシステインの予防効果および製剤の評価	清川 真美	薬剤部
TDM研究 25巻1号 28-36ページ	平成20年1月	MRSA感染治療におけるteicoplaninの投与設計の検討	菅原 満	薬剤部

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 浅 香 正 博
管理担当者氏名	総務課長 山 崎 賢 司 医事課長 成 田 博 昭 薬剤部長 井 関 健

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 診療録管理室	<ul style="list-style-type: none"> 病歴資料については、診療科毎に作成、保管管理（一診療科一診療録） 処方せんについては、薬剤部において保管管理 エックス線写真については、各診療科において保管管理 なお、平成12年10月1日以降退院する患者に係る入院診療録（看護記録、サマリ-を含む）及び外来診療録の一部は、診療録管理室にて保管管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部	
確保規則第9条の2、3及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	総務課	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 浅 香 正 博
閲覧担当者氏名	総務課長 山 崎 賢 司
閲覧の求めに応じる場所	会 議 室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.6%	算定期間	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日
算 出 根 拠	A: 紹介患者の数	14,462 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,888 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	677 人	
	D: 初診の患者の数	26,353 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (GRM 4名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専従 (GRM2+事務2) 名 専任 (GRM2) 名 兼任 (19) 名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療の質向上に向けた対策の検討、実施・ 医療事故防止に関する対策の実施・ インシデント報告書等の管理及び分析・ 医療安全に関する職員研修の企画・実施・ リスクマネジメントに関する委員会の調整・連携機能	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：医療に係る安全管理のための指針として、医療安全管理マニュアルを整備している。 <p>基本方針として「患者さんのための医療の提供」、「チーム医療の推進」を目指し、職域の枠を超えた安全な医療、診療科・部署を超えた組織横断的な医療を提供する。</p> <p>医療安全管理体制として、組織的知の共有として組織的学習メカニズムを図り、スタッフ参画・現場主導の安全管理体制とともに現場支援体制の確立を図る。患者参加型の医療安全を推進する。</p> <p>基本方針、医療安全管理体制以外として、共通マニュアル、医療機器説明、診療科・部署マニュアル、関連マニュアルで構成し、共通マニュアルは現場状況変化に合わせて随時改訂、診療科・部署マニュアルは2年毎に改訂を検討し整備している。</p> <p>指針の周知を図るためにポケットマニュアルの改訂を検討し、平成20年度に全職員に配布予定とした。</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	19年度12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止対策の検討及び推進に関すること・ 医療事故等の対応及び原因究明に関すること・ 医療事故等の情報収集及び分析に関すること・ 医療事故防止に関する職員の教育・研修に関すること	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	19年度456回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：医療に係る安全管理のための職員研修は医療安全管理部主催研修と診療科・部署主催研修として実施している。 <p>【医療安全管理部主催研修】</p> <p>講演会「新病院長として北海道大学病院における医療安全管理について望むこと」</p> <p>医療安全の日の講演会「かけがえない命」と医療安全の標語・ポスター募集</p> <p>講習会「医薬品に関する業務基準等の説明会」</p> <p>講習会「採血・穿刺による神経損傷の予防」3回</p> <p>講習会「新任リスクマネージャー集合講習会2回、個別講習会10回</p> <p>講習会「一次救命処置講習会」9回</p>	